

# 第35回 稲盛フロンティア研究セミナー

下記の要領で稲盛フロンティア研究セミナーを開催致します。皆様方のご参加を心よりお待ちしております（ご参加は無料です）。

日時: 平成30年10月23日(火) 16時～17時

場所: 稲盛財団記念館 2 F セミナー室



## 血管内皮細胞とエピジェネティクス

東京大学アイソトープ総合センター 助教  
神吉 康晴

要旨：血管内皮細胞は血管の内側を覆う細胞であるが、その遺伝子発現は血中のサイトカインや増殖因子、周囲の細胞との相互作用でダイナミックに変化することが知られている。そして、その変化が固形腫瘍の増殖や転移、動脈硬化、糖尿病性網膜症などの疾患を発症、増悪させる。我々の研究室ではこれまでに、ヒストン修飾、染色体構造解析手法を用いて、血管内皮細胞の発生、恒常性維持、病的変化、の3つの視点で研究を行ってきた。本セミナーではその概要と最新の研究成果を紹介したい。

## 抑制系ヒストン修飾による動脈硬化関連遺伝子の転写制御機構解析

東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学分野 学振PD特別研究員  
東島 佳毅

要旨：動脈硬化は血管における慢性炎症性疾患の代表であり、心筋梗塞や脳卒中の原因として重要である。しかしながら、血管内皮細胞における炎症関連遺伝子の転写制御機構は未だ多くが不明である。我々は血管内細胞を炎症性刺激した際のシグナル伝達および遺伝子発現機構についてエピゲノムに着目してこれまで研究を行ってきた。今回の発表では、血管内皮細胞が炎症性刺激に応答する際の抑制系ヒストン修飾の役割についてクロマチン相互作用との関係も絡めながら紹介させて頂く。

### 【問い合わせ先】

九州大学稲盛フロンティア研究センター 先端生命情報研究部門  
東田 裕一  
Tel: 092-802-6960  
E-mail: ytsukada@ifrc.kyushu-u.ac.jp  
URL: <http://www.tsukada-lab.jp>